

令和4年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 東谷 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日(火)に、3年生を対象として、「教科(国語、数学)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語、数学、理科)

教科に関する調査(国語、数学、理科)
①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 生徒質問紙調査

生徒質問紙調査
○ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

※本校3年生は、単学級ですので、個人が特定されないように公表の方法については、配慮しています。

3. 教科に関する調査結果の概要

(1) 全国・本市の学力調査(国語、数学、理科)の結果

本年度の結果	国語		数学		理科	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	6.6	47	9.8	47
全国	9.7	69	7.2	51	10.4	49

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	○全体的にどの分野においても、全国や県平均を若干下回っている。 ○選択式の回答における無回答率はほぼないと言えるが、記述式の無回答率がやや高い傾向にある。
	よくできた問題	○論理の展開などに注意して聞く問題 ○漢字の読みやすい書き方を理解する問題
	努力が必要な問題	○聞き手の興味・関心などを考慮してスピーチを表現する問題

数学	全体的な傾向や特徴など	○全体的に全国や県平均と同程度の結果となっている。 ○選択式の回答における無回答はないが、記述式の無回答率がやや高い傾向にある。
	よくできた問題	○箱ひげ図から分布の特徴を読み取る問題 ○与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取る問題
	努力が必要な問題	○連立二元一次方程式を解く問題 ○道筋を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明する問題

理科	全体的な傾向や特徴など	○全体的にどの分野においても、全国や県平均を上回っている。 ○「粒子」を柱とする領域の平均正答率は特に高くなっている。
	よくできた問題	○液体が気体に変化することによって温度が下がる身近な現象を問うことで、状態変化に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる問題
	努力が必要な問題	○地層の広がり方について、時間的・空間的な見方を働かせながら、ルートマップと露頭のスケッチを関連付け、地層の傾きを分析して解釈できるかどうかをみる問題

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<p>○「自分にはよいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対して最も肯定的な回答をした生徒の割合が全国や県に比べてやや少ない。</p> <p>○学校の授業時間以外での普段、1日当たりの勉強時間が全国や県に比べて短い傾向にある。</p> <p>○授業以外での読書時間も短い傾向にあるが、読書が好きな生徒も多い傾向にある。新聞はほとんどの生徒が読んでいない現状にある。</p> <p>○学習にICT機器が役立つと感じている生徒が多い傾向にある。</p> <p>○国語、理科に関しては得意と感じている生徒が多いが、数学に関しては苦手意識をもつ傾向がある。どの教科もその大切さについては理解している。</p>

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

<p>○基礎学力向上のための「毎日の課題(国、数、理、英、社)」や「これテス」(確認テスト)などの取組を全校で行う。</p> <p>○学力向上部会を設置し、組織的な授業改善研修を実施している。特にICT活用を進め、日々の実践につなげている。</p> <p>○生徒会活動や『東谷いいとこみつけプロジェクト』などを通じた自尊感情の向上をめざす活動を推進していく。</p>

② 家庭生活習慣等に関する取組

<p>○家庭学習用の「毎日の課題」と日々の「朝自習」、「これテス」(本校独自の基礎学力確認テスト)を系統的に機能させ、家庭と学校をつなぎ、保護者の理解を得て家庭学習の大切さを実感させている。</p> <p>○学校の実態として、日々の生活の様子を学校便り、正面玄関前の大型TVモニターやホームページ等で発信することで、学校での生徒の様子を伝えて理解していただいている。</p>
